

《 検査項目の説明 》

B 専門ドック (1/2)

セット名	含まれる検査項目名	どんな検査？	何がわかる？
メタボリック シンドローム・ 腎臓ドック	追加血液・尿検査	数種類の採血管に採血し、血中の成分を調べます 10～20mlほど採尿し、尿中の細胞や成分を測定します	メタボリック・シンドロームに関連するホルモンや、 脂質代謝、骨代謝、腎機能に関する状態がわかります
	脈派測定	両腕、足首に血圧計を巻き、同時に血圧を測定します	上肢下肢の血圧の差から下肢動脈の狭窄、閉塞の可能性を評価します 脈の伝わる速度から動脈硬化の程度がわかります
	腎動脈超音波	超音波を用いて、腹部大動脈から分岐して腎臓に流れる動脈血流を調べます	腎動脈の狭窄あるいは閉塞が原因で起こる腎血管性高血圧を評価します
	頸動脈超音波	超音波を用いて、頸動脈を調べます	脳梗塞、虚血性心疾患につながる動脈硬化の程度がわかります
	骨密度測定	骨に含まれるカルシウムなどのミネラルを測定します	骨粗鬆症の有無、程度がわかります
運動器ドック	骨（腰椎・膝間接）X線	腰椎、膝関節について正面と側面から単純X線(レントゲン)で 撮影します	骨・関節の状態の視覚的評価を行います
	腰椎MRI	M R I という放射線を使用しない装置で腰骨（腰椎）、脊髄、椎間板を 撮影します	椎体（背骨）の圧迫骨折、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、 脊髄腫瘍などを診断します
	骨密度・体組成測定	骨に含まれるカルシウムなどのミネラルを測定します	骨粗鬆症の有無、程度がわかります 体脂肪や筋肉、骨など人間の体を構成する成分の量がわかります
	追加血液・尿検査	数種類の採血管に採血し、血中の成分を調べます 10～20mlほど採尿し、尿中の細胞や成分を測定します	骨、代謝機能、血管に関する状態がわかります
	握力測定	握力計を用いて左右の握力を測定します	筋力の老化の程度がわかります
レディースドック レディース画像ドック (※はレディース ドックのみ)	経膈超音波 ※	超音波の器具を膈内に挿入します	卵巣腫瘍、子宮筋腫などの病気がわかります
	コルポスコピー ※	子宮腔部を拡大鏡を用いて検査します	子宮頸がん、異形成等の病気がわかります
	子宮頸部細胞診 ※	子宮腔部や頸管内からブラシで細胞を採取します	子宮頸がん、異形成等の病気がわかります
	骨密度測定	骨に含まれるカルシウムなどのミネラルを測定します	骨粗鬆症の有無、程度がわかります
	乳房超音波	乳房を超音波で検査します	乳がんなど乳房の病変を診断します マンモグラフィでは見つけにくい乳腺の発達の良い方の早期がんを 見つけることができます
	乳房X線検査 (マンモグラフィ)	乳房を圧迫してX線撮影します	乳がんなど乳房の病変を診断します 超音波では見つけにくい石灰化をとまなう早期がんを 見つけることができます
	骨盤MRI	M R I という放射線を使用しない装置で下腹部（骨盤）を撮影します	膀胱、子宮、卵巣、前立腺など下腹部にある骨盤内の臓器の情報を 得ることができます

《 検査項目の説明 》

B 専門ドック (2/2)

セット名	含まれる検査項目名	どんな検査？	何がわかる？
脳ドック	高次脳機能検査 ※	専門医が対面で、認知機能や記憶力について調べます	認知症のリスクを評価します
脳画像ドック (※は脳ドックのみ)	脳MRI・MRA	M R I という放射線を使用しない装置で脳および脳の血管を撮影します	脳出血、脳梗塞、脳動脈瘤、脳腫瘍などを診断し、脳の変化がわかります
	頸動脈超音波	超音波を用いて頸動脈を調べます	脳梗塞、虚血性心疾患につながる動脈硬化の程度がわかります
心臓・血管ドック	追加血液・尿検査	数種類の採血管に採血し、血中の成分を調べます 10～20mlほど採尿し、尿中の細胞や成分を測定します	心臓に負担がかかると増加するホルモン(BNP) および 微小血管障害の状態がわかります
	心臓カルシウムスコア	CT装置を用いて、心臓の血管に沈着するカルシウムの量を調べます 寝台に仰向けで寝ていただき、胸部に心電図を貼って検査します	心筋梗塞発症リスクを調べます
	負荷心電図	階段昇降の前後にで心電図を記録します 安静時と心臓に負荷を与えた際の心電図を調べます	狭心症や不整脈を診断します
	脈派測定	両腕、足首に血圧計を巻き同時に血圧を測定します	上肢下肢の血圧の差から下肢動脈の狭窄、閉塞の可能性を評価します 脈の伝わる速度から動脈硬化の程度がわかります
	心臓超音波（エコー）	約30分間ベッドに横になり、胸部に超音波をあてて検査します	心臓肥大、弁膜症、心筋梗塞、先天性奇形の有無や心臓のポンプ機能が 正常に働いているかどうかを判定します
	頸動脈超音波	超音波を用いて頸動脈を調べます	脳梗塞、虚血性心疾患につながる動脈硬化の程度がわかります